

「小規模校のよさがわかった」 小中学校の統廃合を考えるつどい 大盛況

市民有志の呼びかけで「小中学校の統廃合を考えるつどい」が7月31日、小矢部市民交流プラザで開かれ、活発な意見交換が行われました。

参加者から「統廃合は仕方がないか、と黙っていたが、今日参加して、考えが変わった」「日本の教育制度が世界に比べて遅れていることは初めて知った」と驚きの声がありました。



統廃合で35人以上学級増える

学校統廃合を進めれば、35人以上が大幅に増えます。石動小と東部小を統合すると35人以上学級が0から4学級に、蟹谷小と津沢小の統合では0から6学級に、蟹谷小と津沢中の統合でも2から4学級に増えます。

学校現場の声

少人数学級でこそ、いじめ、不登校、学力低下は解決できる

小学校の現場からの視点・提言として元教員の谷口恭子氏が報告しました。NPO法人「大空へ飛べ」の「子育てカフェ」で出された不登校当事者の声は、衝撃的でした。「学校は監獄と同じ、朝から夕方まで黙って座って」「学校で学ぶことは、協調性だけ」というものでした。

谷口氏は「学校とはほんとうは何をするところなの」と問い、「その子の光るものを見つめる、子どものよさをみんなで認める、この繰り返しの中で子どもは息を吹き返していく」ところが今の学級規模では「どうしてみんなと同じことができないの?」となる。少人数学級にすることで学校にかかわるほとんどの問題(いじめ、不登校、学力低下)は解決すると強調しました。

小中学校の統廃合を考えるつどい 7月31日、市民交流プラザ

地域に学校は必要

東部小学校教育後援会の尾山喜次会長は「地域に学校は必要で、桜井市長は複式学級にならない限り東部小学校は存続させると、地元で公言されていた。ぜひ学校を存続させるために皆さんのご協力を」と訴えました。

また、他の参加者からは、東部小学校の元校長先生が「東部小学校の規模が一番よかった」と語っておられたとの紹介もありました。



東部小学校

学校再編推進計画・素案

小矢部市 作成を延期

6月議会の指摘を受けて、小矢部市は年内に予定していた小中学校再編推進計画・素案作成を、2023年まで延期することを決めました。

学校統廃合でどんな影響? じっくり学び、考え、行動しよう

この間に市議会議員選挙、市長選挙、県議会議員選挙があります。学校統廃合が子どもたちの成長や地域にもたらす影響を、じっくり学び、考え、主権者として行動しましょう。

東部小学校理想だっよ。

不登校やいじめが心配ね。

砂田市議の一般質問

ジェンダー平等の日本へ

雇用面での女性差別をなくそう

女性の生涯賃金 男性より1億円も少ない

【砂田市議】雇用における女性差別は、日本のジェンダー不平等の根っこにある大問題だ。日本では、男性の年収が540万円、女性が296万円、女性は男性の55%である(非正規も含む)。40年働くと、生涯賃金では1億円もの格差がでてくる。これが老後の年金にまで影響する。

保育や学童保育、教育、介護など人のケアに係わる労働が同一価値労働同一賃金になっているか。

ケア労働

女性の非正規が圧倒的に多い

市の答弁より明らかにになったケア労働における正規・非正規とその男女比は次の通り。女性の非正規雇用が圧倒的に多い。

保育士	正職員55人、非正規66人	女性が100%
介護	公的なデータがない	
教育	県が雇用	正職員167人(男性43% 女性57%) 非正規48人(男性21% 女性79%)
	市が雇用	非正規60名(男性5%、女性95%)

不登校 子どもたちの居場所づくりを

【教育長】フリースクール(富山市、射水市に民営で3施設)は不登校の子どもにとって自宅以外での新たな居場所となっているが、経済的負担などもあり、この利用は本人、保護者の判断による。

本市では、教育センターに適応指導教室を設置しており、9月1日現在4名通所している。心に寄り添った相談に努め、学校以外での居場所についても話を聞き、最良の方策をいっしょに探すよう努めている。

